

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第18回

2013年
7月27日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。参加無料。

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



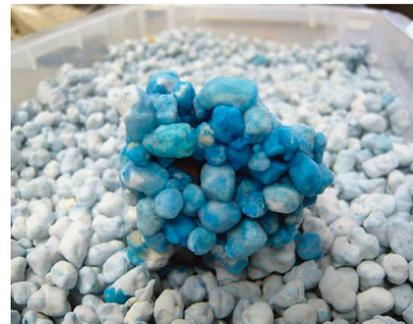
2012年夏ドイツ美術旅行レポート

報告者: 嶋田 丈裕

現代アートの祭典「dOCUMENTA (13)」とその周辺

1年前になりますが2012年夏にドイツ・カッセルで国際美術展ドクメンタの第13回展覧会が開催されていました。

報告者は、それに合わせて、ドイツの現代美術関連のスポットをいくつか巡る旅行をしてきました。そんなドイツでの現代美術鑑賞の旅を、ドクメンタを中心に観客目線で報告します。



ドクメンタの展示風景 (Das »Brain«)

消された〈ロマンス〉——作曲家ボリス・フォミンについて

報告者: 武隈 喜一



ボリス・フォミン(1900-1948)

貴重な音源を通してたどる〈ロマンス〉作曲家の生涯

ボリス・フォミン(1900~1948)は、ヴェルチンスキーが歌って有名になった「長い道」の作曲者です。20年代から死に至るまで、「ロマンス」を作曲し続けましたが、ソビエトの文化政策の中で、「退廃的な音楽家」としてその名は抹殺され、極貧の中、モスクワで死んでいきました。

しかし、その歌は、幾世代にもわたって人々に歌い継がれてきました。

アジプロ劇団〈青シャツ〉や、第二次大戦中の劇団〈ヤストレボク〉で音楽を担当し、演劇史的にも重要な役割を果たしたフォミンの、ほとんど知られていない生涯をたどります。

今回はフォミンの作曲したロマンスを、20年代、30年代の歌手、アレクサンドル・ヴェルチンスキー、タマーラ・ツェレテリ、イザベラ・ユーリエワ、ピョートル・レシチェンコなどの当時の音源で、たっぷりと聴いてもらおうと思います。